

【研究所報告】

1. 平成 30 年 3 月 15 日(木)、公益財団法人日本教育公務員弘済会・平成 30 年度日教弘本部奨励金の贈呈式が行われ、早野代表が出席しました。(於第一ホテル両国 5 階「清澄」)

申請者(代表者)：早野慎吾(都留文科大学、立川日本語・日本語教育研究所)

共同者：松井洋子(東京福祉大学)、宮田好恵・鈴木恵美(以上東大和市立第十小学校)

助成番号：17A2-019

助成事業：日教弘本部奨励金

後援：文部科学省

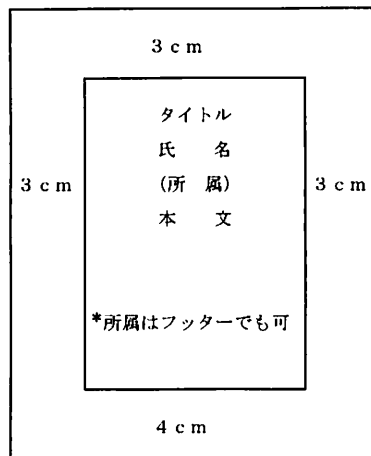
テーマ：外国人児童生徒の学力向上のための教材開発に関する研究

助成金額：500,000 円

2. 本誌掲載の「オタク文化の表現論(1)ーコミック景観についてー」および「パチンコ広告の表現に関する一考察」は、都留文科大学学術研究費交付金(250,000 円)による研究成果の一部です。また、「年少者の言語能力と学力に関する研究ー日本語力と話者意識および生活習慣の関係についてー」は、都留文科大学特別教育研究費交付金(400,000 円)による研究成果の一部です。

『日本語文化の研究』投稿規定

1. 本誌は、年一回発行を基本とする。
2. 投稿は原則として会員に限る。
3. 原稿の内容は、言語学・言語教育・民俗学など、ことばに関連があるものに限る。
4. 原稿の採否は編集委員が審査し、決定する。また、審査段階で修正を依頼することがある。
5. 使用言語は日本語または英語とし、横書きとする。
6. 原稿は完全原稿とし、未発表論文(口頭発表を除く)に限る。
7. 原稿の長さは罫・表を含め A 4 判サイズで 10 枚を越えないことを基本とする。
8. 原稿の左右・上下の余白は以下に示した例に従うこととする。日本語の原稿は 40 字×40 行を基本とする。英語の原稿はダブルスペース、または 1.5 スペースで 40 行を基本とする。原稿の 1 ページ目は、タイトル、氏名、所属をこの順に記し、それに本文を続けることとする。頁ナンバーは、原稿の裏に鉛筆で記すこと。ワードによる電子媒体で投稿する場合は頁ナンバーの記載は不要。



原稿は随時受け付けるが、次号 (Vol.2) の締め切りは 2019 年 2 月末日とする。
送付先 (送信先) は立川言語文化研究会事務局まで。